

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	商工観光課
課名	商工観光課

予算	款	項	目	決算書
	7	1	5	172 頁

目 名
地域元気わくわく創造事業費

事務事業名称
地域元気わくわく創造事業

1. 概要

目的	豊後大野市内で顕在化する小規模集落における諸問題に対して「地域コミュニティの再生」と「小規模集落の再起動」を合い言葉に、地域住民自らが楽しみながら・身の丈にあった・長続きする取り組みを支援することを目的とする	対象	小規模集落の住民
事業概要	<p>○地域元気わくわく創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営商のススメ 地域売店設立に向けた調査・研究、店舗実験、コンサルティングを実施した。[対象:長谷川地区] ・今こそ集え！棚田十勇士 地域資源を活かした体験プログラムの開発と持続可能な実施体制の構築に努めた。[対象:市民] 		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	地域元気わくわく創造事業	事業推進委託料	委託料	3,270	2,988				2,988	2
計				3,270	2,988	0	0	0	2,988	

2. 指標設定

成果指標	指標名	担い手定住者数	目標年度	H24	指標の設定理由			
	数値	5人以上			実証実験を通じて限界集落の担い手定住者を増やしていく			
活動指標	指標	a	要望地域数	b	交流人口	c		d
	数値	目標	10地区	目標	300人/地区	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
担い手定住者数	人	—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 要望地域数	地区		3 地区	4 地区
			30 %	40 %
b 交流人口	人		200 人	300 人
			66.7 %	100.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
事業の主旨に則った仕組み作りが必要である
対応（改善点等）
仕組みづくりの社会実験や地元住民への説明会を行っていく

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

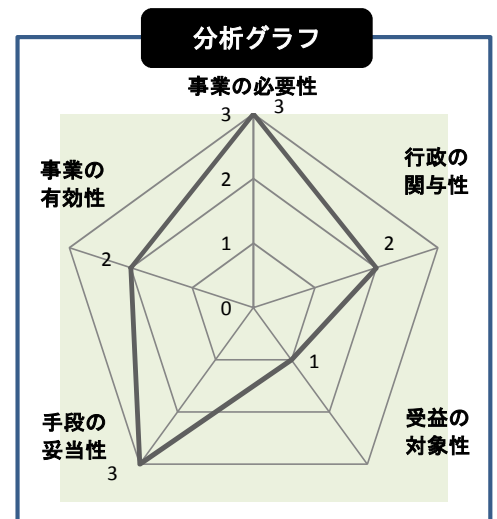
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		0	8,152	2,988	2,298
財源内訳	国費		8,150		
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源		2	2,988	2,298
うち経常					
事業費に係る人件費			3,504	3,870	3,435

6. H25年度予算の方向性

方向性
予算措置なし
理由
小規模高齢化対策モデル事業として実施しており、地域において持続可能な取り組みを促すため、3年間(H22～H24)に限り実施するもの

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 小規模高齢化集落対策のモデル事業として取り組んでいる
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 小規模集落対策においては、民間参入が困難であり行政の関与が必要不可欠である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 小規模集落対策のモデル事業として取り組んでいることから対象は限られている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目標達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 地域の実態として、期待する効果には時間を要する。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
廃止	サンセット方式により事業終了するもの